

## 2. 世田谷区の水辺の変遷と現状

### 2.1 世田谷区の水辺の変遷

#### 2.1.1 江戸期の世田谷の水辺と土地利用<sup>1</sup>

もともと世田谷の川は台地が浸食されて形成された自然河川であり、また国分寺崖線沿いなどに湧き出た豊富な湧水が集まって川の流れとなっていた。最初の水利事業としては、1611年（慶長16年）に多摩川の水を取り込んだ用水路開削事業の次大夫堀（別名を六郷用水）があり、次いで飲用水確保のために1653年（承応2年）に開削された玉川上水がある。

さらに、玉川上水から分水した用水路として北沢用水（現在の北沢川）、烏山用水（現在の烏山川）、品川用水、三田用水の整備が行われた。開削当時は田畑の灌漑用水として利用し、その後は生活用水としても使用していた。

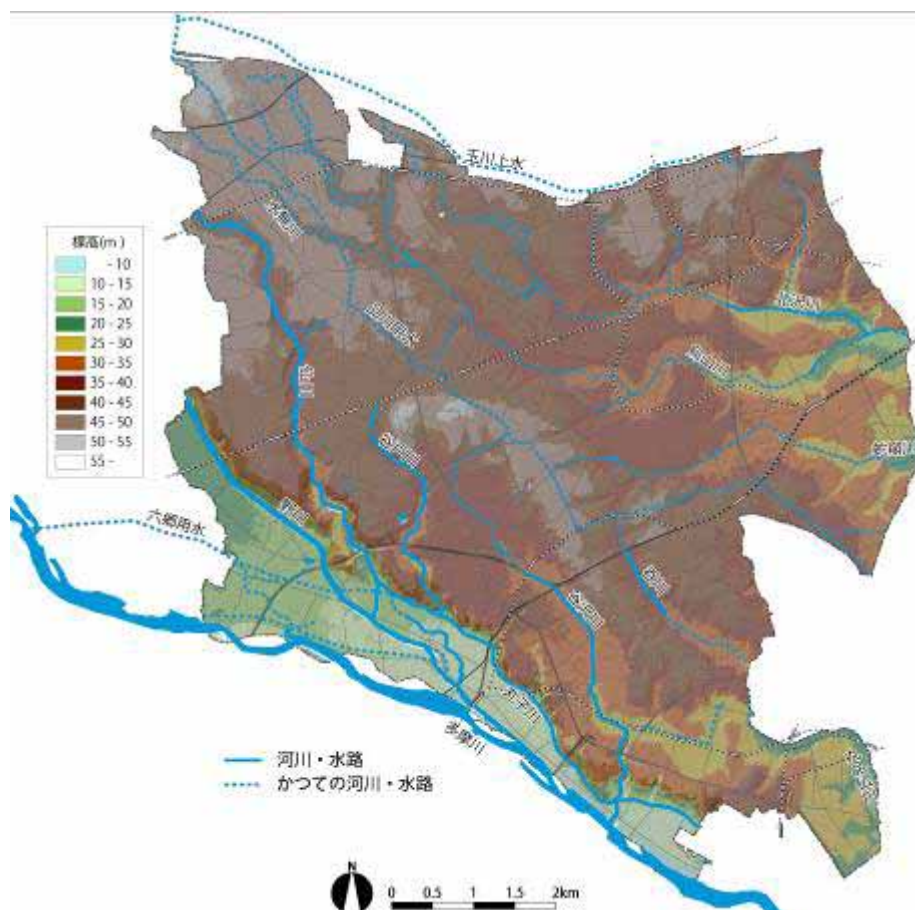


図 2.1 世田谷の河川・水路<sup>2</sup>

<sup>1</sup>河川流域環境整備方針策定のための基礎調査委託報告書、平成19年3月、世田谷区、国土館大学

<sup>2</sup>河川・水路、かつての河川・水路：世田谷区資料、地形：数値地図50mメッシュ標高、国土地理院より作成

## 2.1.2 明治期から昭和期の水辺と土地利用（農村地から住宅地へ）

明治期から大正期までの世田谷の風景は、台地上に広がる畑、点在する雑木林、中小河川と用水路沿いの水田、野川沿いに続く国分寺崖線の樹林地と河川沿いの水田で構成される、みどりとみずの豊かな風景が見られた。当時の土地利用図（図 2.3）からも田畑や畑が広がっていることが分かる。

その後、昭和期にかけては、玉川全円耕地整理や成城学園などに代表される都市近郊住宅地の開発が進み、戦後においても都市近郊農村地から住宅都市へと変貌を遂げた。当時の土地利用図（図 2.4、図 2.5）から田畑や林が急速に宅地へとかわっていく様子がうかがわれる。戦後復興から高度経済成長期には、都市の基盤が整わないままに都市へ人口が集中し、河川や水路の多くは埋め立てられ、地上部は主に緑道や道路として、地下は下水道管渠などに利用され、現在に引き継がれている。



昭和 33 年 六郷用水（喜多見付近）



昭和 32 年 経堂大橋



昭和 36 年 多摩川



昭和 33 年 野川（兵庫橋付近）

図 2.2 かつての世田谷の風景<sup>3</sup>

<sup>3</sup>世田谷区資料

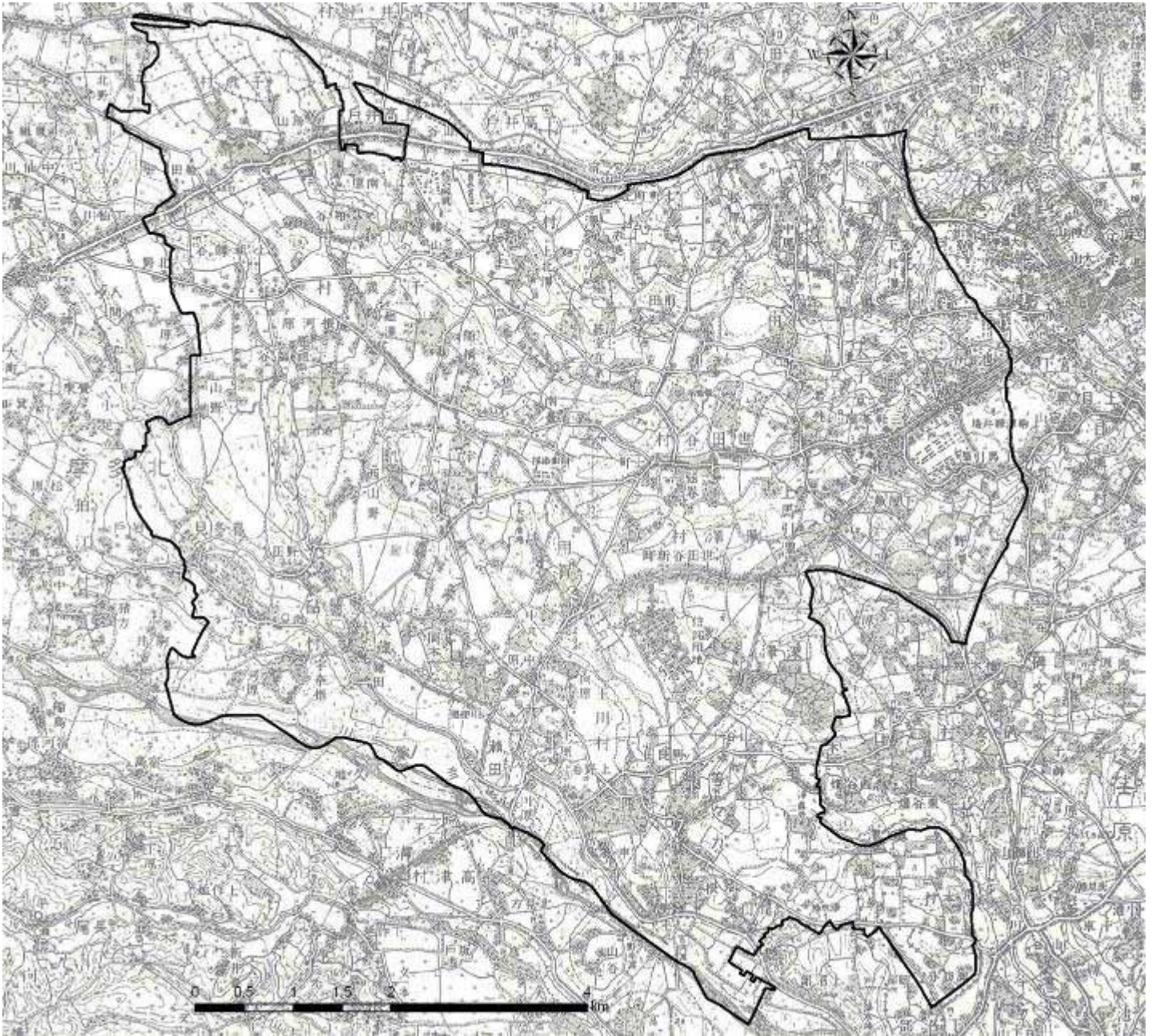


図 2.3 大正 10 年頃の土地利用図 (1921 年)<sup>4</sup>

<sup>4</sup> 1921 (大正 10) 年頃 (5 万分の 1) 地図で見る東京の変遷 (平成改訂版) 平成 8 年 10 月、財団法人日本地図センター発行

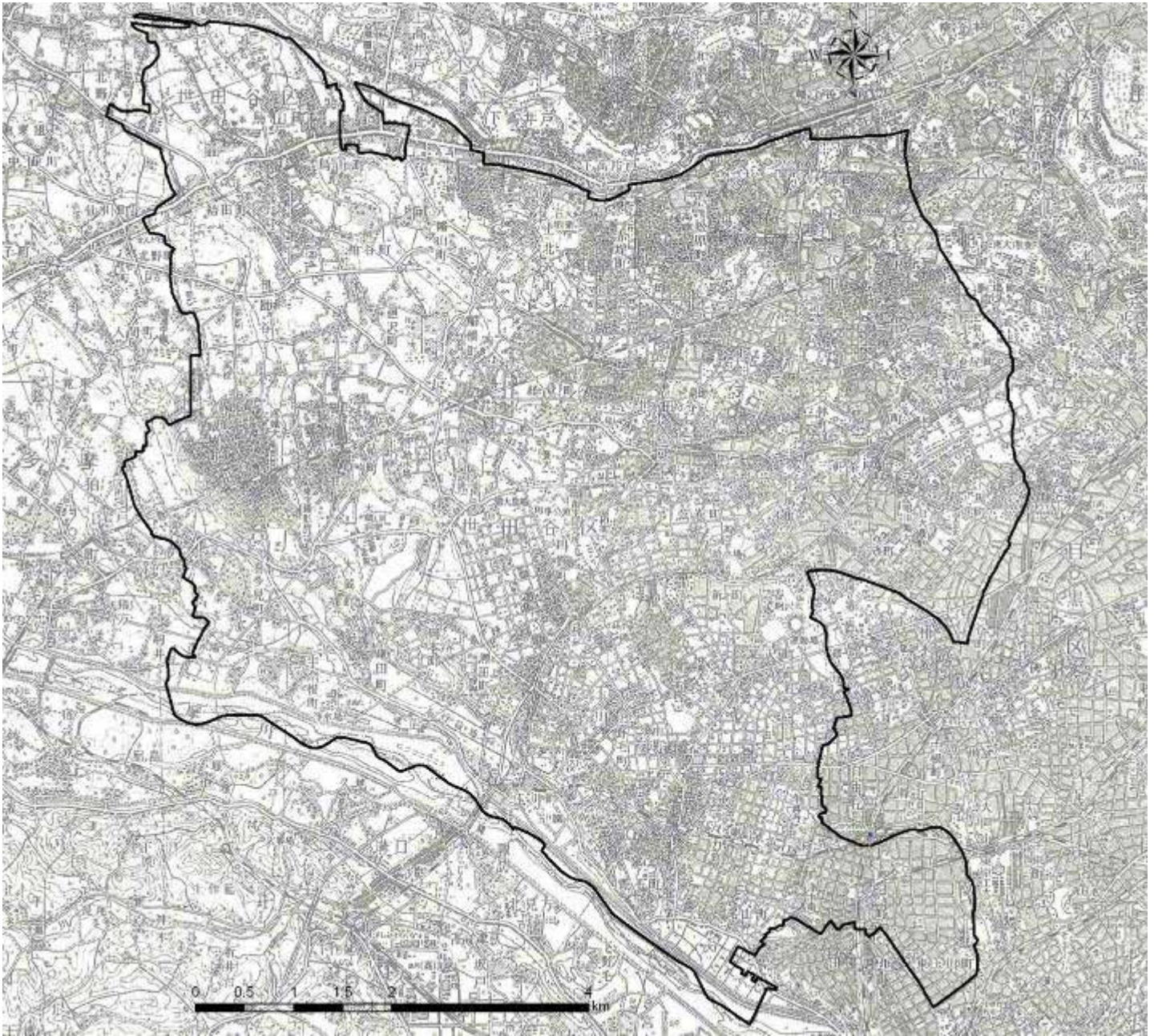


図 2.4 昭和 30 年頃の土地利用図 (1955 年)<sup>5</sup>

<sup>5</sup> 1955 (昭和 30) 年頃 (5 万分の 1) 地図で見る東京の変遷 (平成改訂版)、平成 8 年 10 月、財団法人日本地図センター発行

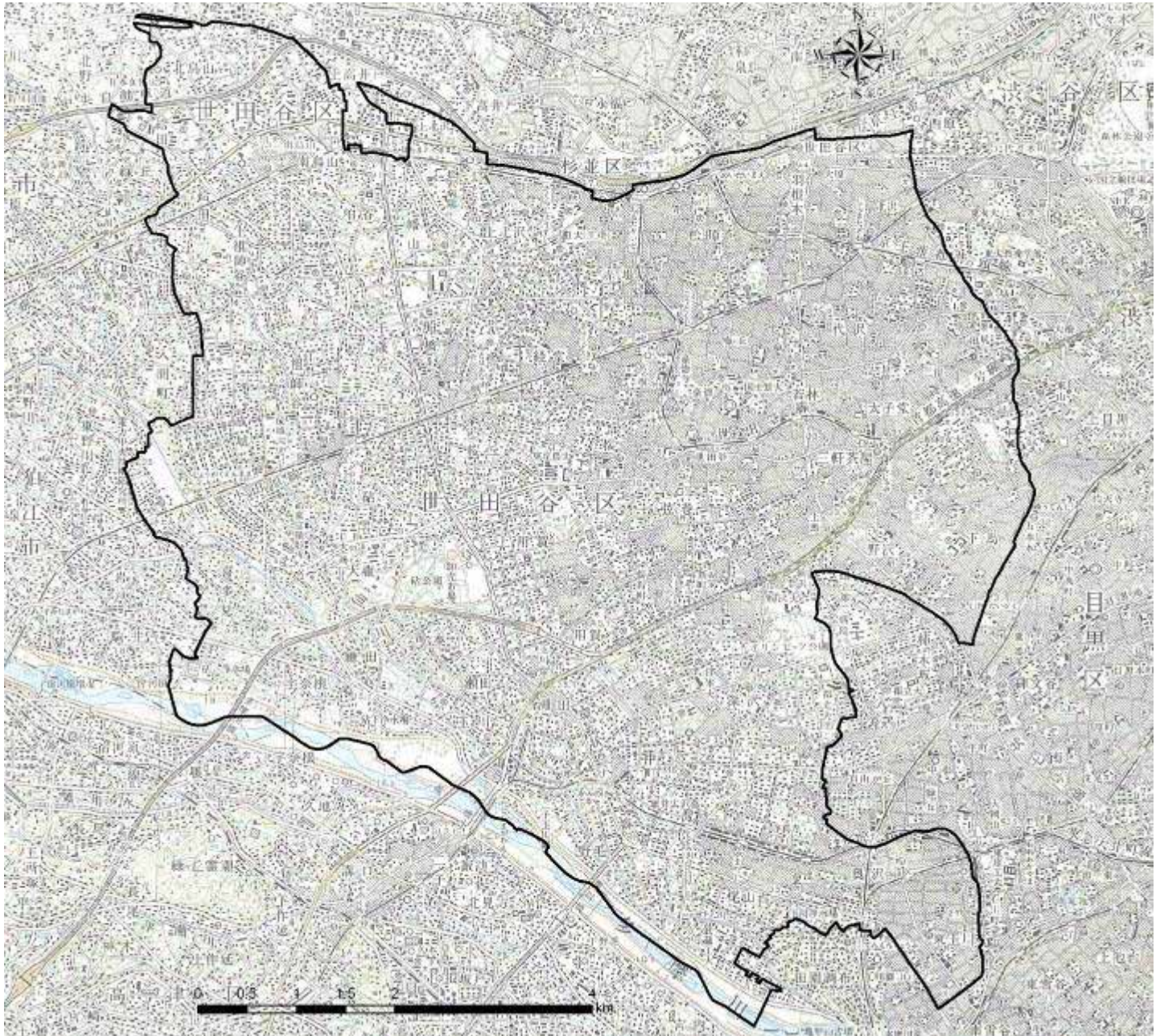


図 2.5 昭和 56 年頃の土地利用図 (1981 年)<sup>6</sup>

<sup>6</sup> 1981 (昭和 56) 年頃 (5 万分の 1) 地図で見る東京の変遷 (平成改訂版) 平成 8 年 10 月、財団法人日本地図センター発行

### 2.1.3 現在の水辺と土地利用

現在の土地利用図(図 2.6)から、区内全域で宅地が拡大していることが分かる。土地利用の構成<sup>7</sup>は、独立住宅と集合住宅で 48.5%を占めており、住宅以外の土地利用で最も多いのが交通系の 17.6%で、農地・森林などが 4.1%、水面・河川は 0.7%と少ない。

北沢川や烏山川では、埋め立てた地上部を緑道として利用しているが、その一部に下水の高度処理水を導水して流れを再生している。また、六郷用水は、丸子川として約 5.4km が、次大夫掘公園内の流れとして約 600m が再生されている。一方、品川用水のほとんどは埋め立てられ道路になっている。玉川上水と三田上水は世田谷区内ではほぼ蓋掛けされており、玉川上水については京王線の笹塚駅と代田橋駅の間の渋谷区側でわずかに水面を見ることができる。

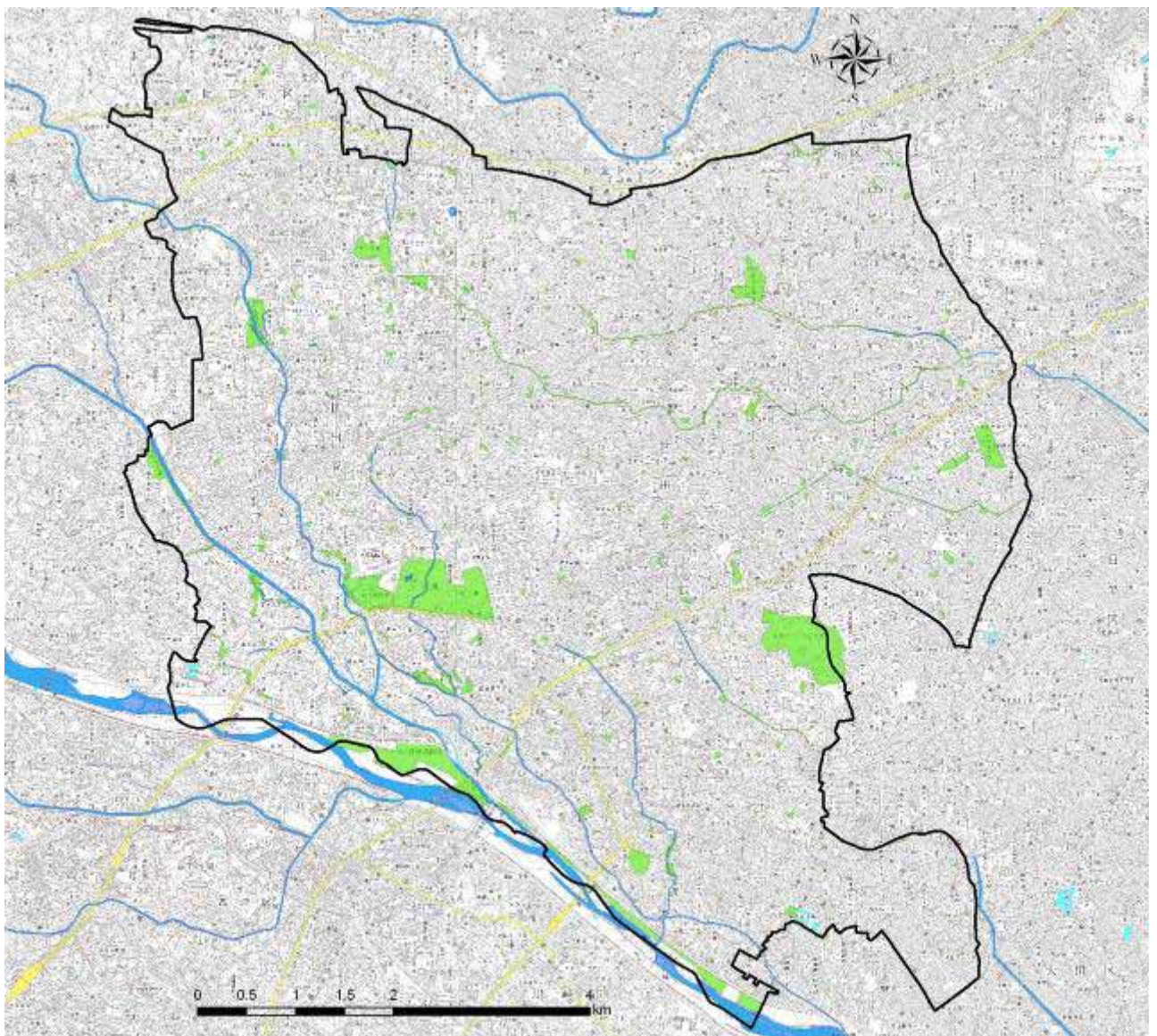


図 2.6 平成 15 年頃(2003 年)<sup>8</sup>

<sup>7</sup>平成 18 年度世田谷区土地利用現況調査(みどりの資源調査編)報告書 平成 19 年 3 月 をもとに作成

<sup>8</sup>数値地図 25000(地図画像) 国土地理院、平成 19 年 1 月発行 をもとに作成